

# 穂 学

令和2年度  
広州日本人学校 学校便り  
[No. 22]  
令和3年3月11日(木)  
発行責任者 校長 喜屋武浩司

## 「がんばれ！！広州日本人学校(令和3年度修了にあたって)」

昨日、3月10日に卒業式が行われ、小学部28名、中学部7名がこの学び舎を巣立っていきました。卒業生の皆さん、卒業、おめでとうございます。心のこもった歌声や贈る言葉に心打たれました。ご来賓の暖かいお言葉にも感謝申し上げます。卒業生へのメッセージを、これからを担う在校生の皆さんへも伝えます。

広州日本人学校の学校教育目標は、「自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童生徒の育成」です。

昨年発生した新型コロナウイルス感染症の影響で、学校に登校できずに自分で学習することを強いられた期間がありました。皆さんは、どこでどんな形で勉強していましたか。そのような時に、まさしく本校の学校教育目標の一つ「自ら学ぶ」ことの大切さとその実践力が問われました。人生は学校に通っている時だけが勉強ではありません。むしろその後の時間が長いのです。つまり、働いてから老いるまで一生涯勉強です。学ぶことは心を豊かにするとともに人生を豊かにしてくれます。これからも「自ら学ぶ」ことの大切さを忘れないで努力を重ねてください。

「個性豊かに」とは、一人一人がもっている個性や人間性を大切にしてほしいという願いはもちろんのこと、自分の友だちやこれから出会うであろう仲間をも大切に、互いに協力して様々な問題を解決してほしいという願いも込められています。皆さんは、ここ広州で過ごす中で、様々な人との出会いや交流を通して、異なる言語、文化、習慣に触れてきました。そのことも皆さん一人一人の個性を大きく育ててきたことでしょう。

皆さんの将来の夢を聞くと、「将来は海外で活躍する人になりたい」という夢が多いと思いますが、私たちの住むこの地球は、いま様々な問題に直面しています。地球温暖化、人種差別、紛争など、世界で起きていることに常に目を向け、今自分にできることは何だろうと考えるように心がけてほしいと思います。それが「国際社会に生きる」ことや「海外で活躍する」ことにつながります。

在校生の皆さんには、ぜひ「自ら学ぶ」「個性豊かに」「国際社会に生きる」の三つを心にとめて、これからの広州日本人学校をもっともっと素晴らしい学校にしてください。皆さんの頑張りと活躍を期待しています。

保護者の皆様におかれましては、本校のために多大なるお力添えを頂きましたことに、厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

